

岡山県感染症週報 2026年第19週 (5月4日～5月10日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令中です

【お知らせ】2026年第20週(5/11～5/17)と第21週(5/18～5/24)の感染症週報は、2026年5月29日(金)にホームページへ掲載いたします。

◆2026年第19週(5/4～5/10)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況(第19週届出分)

第18週 5類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名(90代 男)

梅毒 1名(20代 男)

第19週 2類感染症 結核 1名(60代 女)

4類感染症 E型肝炎 1名(80代 男)

レジオネラ症 2名(60代 男2)

5類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名(70代 女)

侵襲性肺炎球菌感染症 1名(70代 男)

水痘(入院例) 1名(30代 男)

梅毒 3名(20代 女1、30代 男1、40代 男1)

効果的な場面でのマスク着用!



©岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：ARI 定点50、小児科定点28、眼科定点12、STD 定点18、基幹定点5

○新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で9名(定点あたり0.18人)の報告がありました。

○急性呼吸器感染症(ARI)は、県全体で1,828名(定点あたり36.56人)の報告がありました。

1. [新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)](#)は、県全体で9名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり0.30 → 0.18人)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)情報』](#)をご覧ください。
2. [急性呼吸器感染症\(ARI\)](#)は、県全体で1,828名の報告があり、前週から減少しました。(定点あたり62.70 → 36.56人)。詳しくは、『[★急性呼吸器感染症\(ARI\)情報](#)』および岡山県感染症情報センターホームページ [『急性呼吸器感染症\(ARI\)情報』](#)をご覧ください。
3. [梅毒](#)は、2026年第19週に3名の報告があり、2026年の累計報告数は61名となりました(2025年の同時期:96名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『梅毒について』](#)をご覧ください。

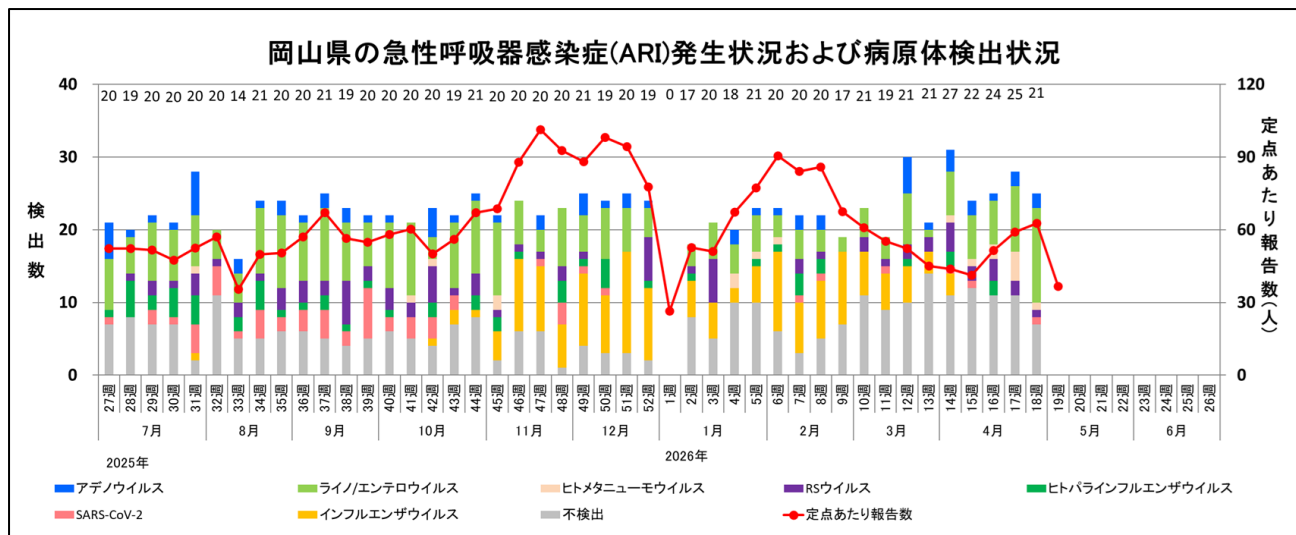
流行の推移

疾病名	定点あたり報告数		推移	疾病名	定点あたり報告数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	0.40	0.08	↓	突発性発しん	0.43	0.36	↓
COVID-19	0.30	0.18	↓	ヘルパンギーナ	0.07	0.04	↓
急性呼吸器感染症(ARI)	62.70	36.56	↓	流行性耳下腺炎	0.00	0.00	→
RSウイルス感染症	0.54	0.11	↓	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	→
咽頭結膜熱	0.18	0.21	↑	流行性角結膜炎	0.17	0.00	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00	1.79	↓	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
感染性胃腸炎	4.82	2.82	↓	無菌性髄膜炎	0.20	0.00	↓
水痘	0.43	0.68	↑	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.00	↓
手足口病	1.29	0.89	↓	クラミジア肺炎	0.00	0.00	→
伝染性紅斑	0.21	0.04	↓	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	→

【記号の説明】 前週からの推移 ↑ : 増加 → : ほぼ増減なし ↓ : 減少 増加・減少 : 前週比10%以上の増減

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第19週（5/4～5/10））



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。
 ※1検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。
 ※グラフ上部の数字は検体数を示しています。
 ※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50医療機関（内科定点22、小児科定点28）
 ※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5医療機関（内科定点2、小児科定点3）

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で1,828名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり62.70→36.56人）。地域別では、備中地域（55.40人）、岡山市（43.61人）、倉敷市（40.83人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

2026年第19週に環境保健センターに搬入された検体はありませんでした。

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について（国立健康危機管理研究機構）](#)

国内での麻しんの報告数が増えています

2023年以降「麻しん（はしか）」の世界的な流行が続いており、海外からの輸入リスクが高まっています。その影響で、国内の報告数も増加（前年同時期比4.3倍（2026年5月8日時点））しており、引き続き注意が必要な状況です。

発生動向

- ・国内の患者は10-20代を中心にみられ、医療機関や学校、公共交通機関など、人が集まる場所での感染も確認されています。
- ・10-20代の患者では、2回のワクチン接種が済んでいない方や接種歴不明の方が約半数を占めていました。

お願いしたいこと

- ・麻しんワクチンの2回接種が確認できない場合は、医療機関にご相談ください。
- ・麻しんの流行がみられる国や地域に渡航する方は、接種歴を確認し、2回接種が確認できない場合は、渡航前の接種を検討ください。
- ・発熱、発しん、せき、鼻水、結膜充血など、麻しんが疑われる症状がある場合は、事前に医療機関へ連絡したうえで受診し、渡航歴や接触歴があればお伝えください。

麻しん（はしか）（厚生労働省）

海外渡航者への麻しんの注意喚起（厚生労働省）

[海外へ渡航される方へ](#)

[海外から帰国された方へ](#)



◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

岡山県は腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令中です！

➤ 「清潔」（菌をつけない）

- ・調理前、食事前、トイレ後には、石けんと流水で手をよく洗いましょう。
- ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄・消毒を行いましょう。
- ・焼肉をする時は、生の肉をつかむはしと食べるはしを使い分けましょう。

➤ 「迅速・冷却」（菌を増やさない）

- ・生鮮食品や調理後の食品は、できるだけ早く食べましょう。
- ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
（生食用鮮魚介類は、4℃以下で保存するよう努めましょう。）

➤ 「加熱」（菌をやっつける）

- ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
- ・特に、食肉は中心部の色が完全に変わるまで十分に火を通し、生食は避けましょう（腸管出血性大腸菌は、75℃、1分間以上の加熱で死滅します）。

[食中毒予防の3原則（岡山県生活衛生課）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省作成チラシ）](#)

ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)***、**つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(マダニ、ツツガムシの忌避を効能としているもの)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。

また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。

体調不良のペットや野生動物との接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [日本紅斑熱 \(国立健康危機管理研究機構\)](#)
- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A \(厚生労働省\)](#)
- ⇒ [つつが虫病 \(国立健康危機管理研究機構\)](#)
- ⇒ [マダニ対策、今できること \(国立健康危機管理研究機構\)](#)



吸血後の
フタトゲチマダニ♀



ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 撮影画像

保健所別報告患者数 2026年 第19週(定点把握)

(2026/05/04~2026/05/10)

2026年5月14日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4	0.08	-	-	-	-	1	0.25	-	-	2	0.50	-	-	1	0.20
COVID-19	9	0.18	2	0.11	5	0.42	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
急性呼吸器感染症	1828	36.56	785	43.61	490	40.83	59	14.75	277	55.40	129	32.25	35	17.50	53	10.60
RSウイルス感染症	3	0.11	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.21	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	1.79	23	2.30	13	1.86	1	0.50	7	2.33	1	0.50	3	3.00	2	0.67
感染性胃腸炎	79	2.82	34	3.40	15	2.14	1	0.50	10	3.33	4	2.00	-	-	15	5.00
水痘	19	0.68	16	1.60	1	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
手足口病	25	0.89	8	0.80	9	1.29	-	-	5	1.67	1	0.50	-	-	2	0.67
伝染性紅斑	1	0.04	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	10	0.36	7	0.70	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33
ヘルパンギーナ	1	0.04	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2026年 第19週(発生レベル設定疾患)

(2026/05/04~2026/05/10)

2026年5月14日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	4	0.08	-	-	-	-	1	0.25	-	-	2	0.50	-	-	1	0.20
咽頭結膜熱	6	0.21	1	0.10	3	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	1.79	23	2.30	13	1.86	1	0.50	7	2.33	1	0.50	3	3.00	2	0.67
感染性胃腸炎	79	2.82	34	3.40	15	2.14	1	0.50	10	3.33	4	2.00	-	-	15	5.00
水痘	19	0.68	16	1.60	1	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
手足口病	25	0.89	8	0.80	9	1.29	-	-	5	1.67	1	0.50	-	-	2	0.67
伝染性紅斑	1	0.04	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.04	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2026年 第19週 2026/05/04～2026/05/10)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-
COVID-19	9	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	2	-	1	-	-	2

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	1828	183	746	315	140	63	67	79	54	58	42	39	42

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	3	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	-	2	1	2	3	9	3	2	9	6	3	9	1
感染性胃腸炎	79	1	7	11	5	8	5	8	2	7	7	3	7	2
水痘	19	-	1	-	1	2	4	4	2	1	-	2	2	-
手足口病	25	-	2	11	9	1	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	10	-	4	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

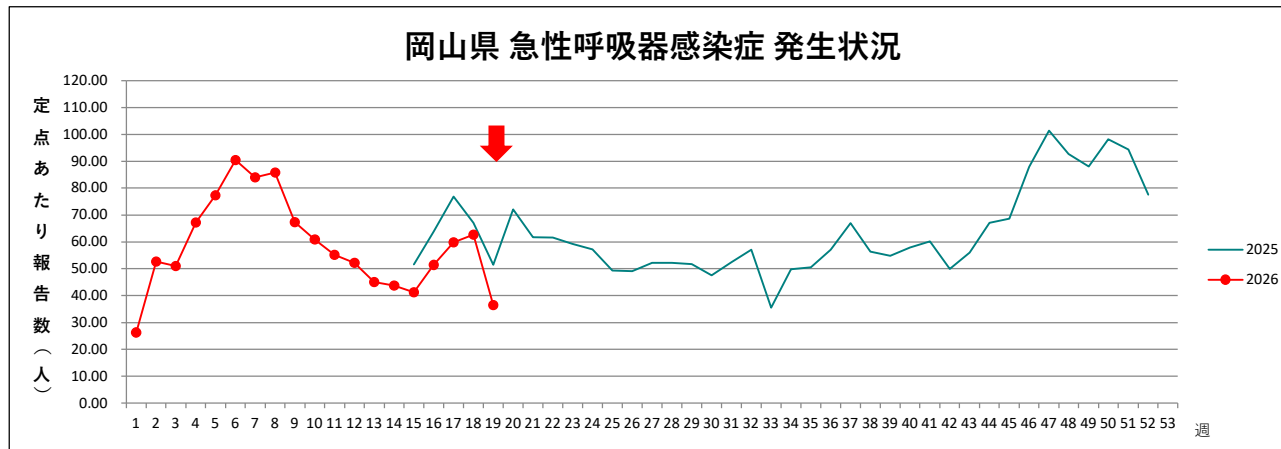
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症 (ARI)	1,828	36.56	785	43.61	490	40.83	59	14.75	277	55.40	129	32.25	35	17.50	53	10.60

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
急性呼吸器感染症 (ARI)	1,828	183	746	315	140	63	67	79	54	58	42	39	42

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2026年 第19週

分類	疾病名	2026			疾病名	2026			疾病名	2026		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	79	237	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	20	95
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	1	4	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	2
	エキノコックス症	-	-	-	エムポックス	-	-	-	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	-	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	8
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	-
	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	19
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	2	14	58
	レプトスピラ症	-	-	1	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	2	8	ウイルス性肝炎	-	-	2	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	-	4
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	2	急性脳炎	-	4	14	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	21	後天性免疫不全症候群	-	3	9
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	3	9	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	1
侵襲性肺炎球菌感染症		1	20	55	水痘(入院例に限る。)	1	3	6	先天性風しん症候群	-	-	-
多剤耐性緑膿菌感染症		-	-	-	梅毒	3	61	253	播種性クリプトコックス症	-	-	3
破傷風		-	1	-	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
百日咳		-	55	2148	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	5
薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-		-	-	-		-	-	-

